

これからはイヤーチップにもこだわる

高い遮音性と、豊かな低音再現力で人気のカナル型ヘッドホン。しかし耳栓のような形状なので、長時間使用して耳が疲れてしまったという経験を持つ方も少なくないのではなからうか。

そういった方にお薦めしたいのが、アメリカのヒアリングコンポーネンツ社から発売されているイヤホンチップである。同社は、米国立衛生研究所から助成金を受けて聴覚に関する研究を行っている会社で、その技術力は補聴器業界、軍事通信、民間航空機業界などで多く採用されている。そんな医療レベル、軍事レベルの技術をヘッドホンへ応用しようというのが、今回ご紹介するComply（コンプライ）である。

本製品の特徴は、採用素材が体温でシ



イヤホンチップ Pバージョン/Tバージョン

Comply
¥3,000(3ペア入り)~

- 素材：低反発ポリウレタン ●5ペア入りも用意
- 取り扱い：㈱エントリージャパン <http://www.entry-japan.com>

Complyを使用したカナル型ヘッドホンも発売(写真はNR-10)。今後、本誌にてレポートを行う予定です。



IPort純正イヤホンにも使える「Whoomp! イヤホンエンハンサー」(¥1,500)も発売中。純正イヤホンでも確かな低音を楽しめる

リコンゴムの約30倍柔らかくなり耳の中
でやさしく膨らむため、外耳道の動きに
も常にピッタリとフィットするという点。
これは耳を「密閉する」という考え方に基
づくもので、音漏れを防ぎ、耳にかかる
負担も軽減するというものだ。
実際の使用感は非常に良好。特に長時
間の移動中などでも、耳に痛みを感じる
ことがないのが好ましい。なお、使うヘ
ッドホンに応じて対応するイヤーチップ
は異なる。オーディオテクニカやアルテ
イメット・イヤーズ、シユアアなどをは
じめとする人気モデル専用のイヤーチッ
プを用意。今後さらさらに増える見通した。
ヘッドホンにこだわるのなら、これか
らはイヤーチップにもこだわる、これが
スタンダードとなるだろう。(編集部)